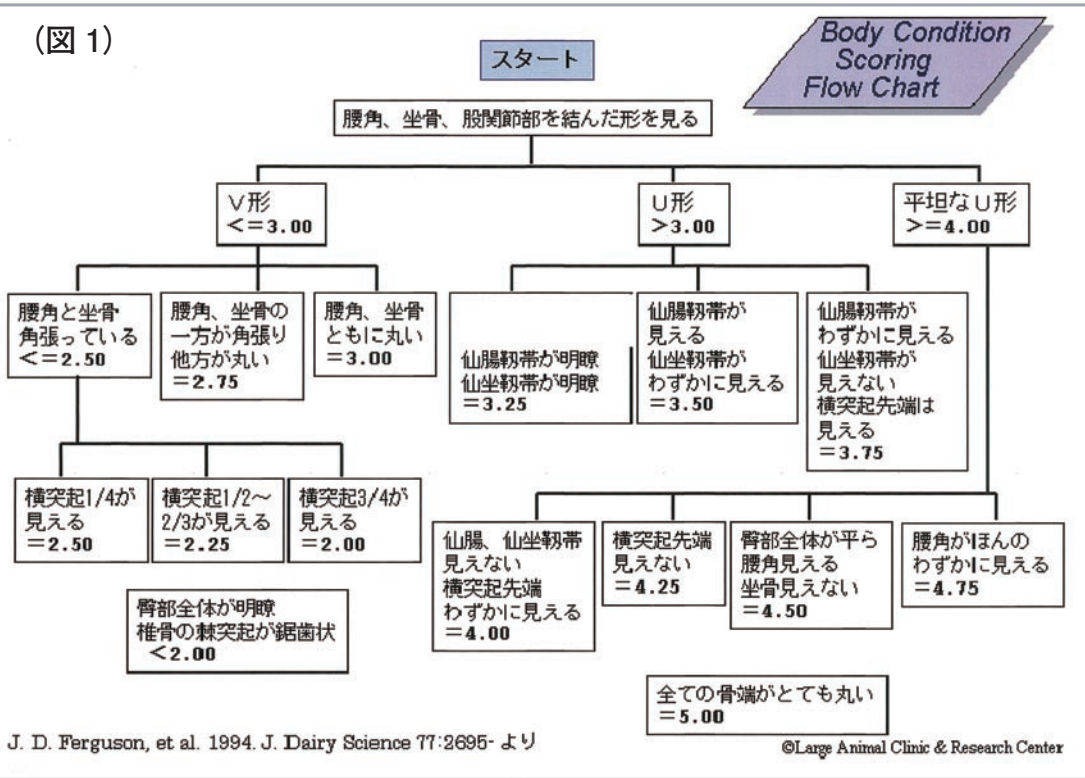


(図 1)



(図 2)

評価の手順 1 腰部

- 牛を起立させる
- 斜め後ろ45度の位置から腰部を観察
- 坐骨～大腿骨頭(大転子)～腰角を結ぶ仮想曲線を見極める
- V字型の場合は、3.0以下
 - 腰角と坐骨の観察へ
- U字型の場合は、3.25以上
 - 仙座靭帯、仙腸靭帯の観察へ

腰部

削せるとV字形 ≤ 3.0

太るとU字形 $3.25 \le$

評価の手順 2 腰角と坐骨

- 腰角と坐骨は、太って脂肪附着すると丸くなり、痩せて附着がなくなると角張ってくる
- 共に附着している(○)の場合は、3.0
- 一方に脂肪附着し、他方がない(◇○または○▽)場合は、2.75
- 共に附着なし(▽◇)の場合は、 ≤ 2.5

腰椎横突起の観察へ

腰角

脂肪附着 (丸い)

脂肪附着なし (角張っている)

坐骨

脂肪附着 (丸い)

脂肪附着なし (角張っている)

評価の手順 3 腰椎横突起

- 横突起間溝に注目
- 太ると溝は見えず、痩せると見える
- 横突起先端～腰椎中心の長さに対する溝の割合を見る

BCS=2.25

痩せすぎの見極め

- 脊椎の棘突起が、鋸歯状に見えれば、痩せすぎ

鋸歯状 BCS 1.5

評価の手順 4 仙座・仙腸靭帯

- 両靭帯は痩せると明瞭に見え、太るに伴って次第に不明瞭になる
- 共に明瞭に見える場合、3.25
- 一方が明瞭、他方がわずかに見える場合、3.5
- 一方がわずかに見え、他方が見えない場合、3.75
- 共に見えない場合は、 ≥ 4.0

腰椎横突起先端に注目

仙座靭帯と仙腸靭帯

明瞭

明瞭

見えない

見えない

明瞭

わずかに

見えない

過肥